

# 補聴器ってなあに？

補聴器について、仕組みや種類について紹介します。

大阪府立中央聴覚支援学校  
聴覚支援センター・早期教育相談

# 補聴器の役割

補聴器は難聴の方がきこえにくさを補うために使用する管理医療機器です。

補聴器の主な役割は、以下のようなものがあります。

- 1 増幅機能（音を大きくする）
- 2 音質調整（聴力に合わせて音質を調整する）
- 3 出力制限（音を大きくしすぎない）
- 4 雑音抑制（周囲の雑音を抑えてきこえやすくする）
- 5 指向性（話し手の声をききやすくする）

# 補聴器の仕組み



- ①周囲の音や声をマイクで集める。
- ②聴力に合わせて音を変換調整・増幅する。
- ③ききやすい音として出力する。



補聴器がない状態ではきこえにくい

おはよう



おはよう



補聴器があるときこえが改善される(完全にきこえる訳ではない)

おはよう

# どんな人が補聴器を使うの？

補聴器は、難聴があって補聴器が必要であると耳鼻科の医師が判断した方が使用します。

最近は軽度・中等度難聴の方でも補聴器を使用することが増えています。

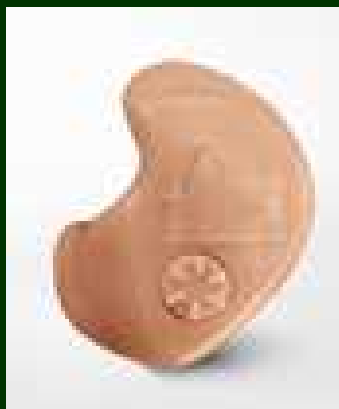
新生児の場合、難聴の確定診断が出た後の生後6ヶ月頃から補聴器を使い始めることが多いです。

乳幼児期は、補聴器装用を嫌がったり、睡眠時間が長かったり（寝ている時は補聴器を外します）して装用時間が短くなります。「補聴器の装用開始が遅れた」「装用時間が短い」等であせらず今できるお子さんとの関わりをじっくりやっていきましょう。

# 補聴器の種類



耳かけ型補聴器



耳あな型補聴器



骨導補聴器



イヤモールド



それぞれの耳の形状や聴力に合った補聴器を使用します。耳かけ型補聴器は、イヤモールド（耳の穴を型採った耳栓）を作成してから装用します。

# 補聴器の購入

- ・ 身体障がい者手帳（聴覚障がい）を交付された方
- ・ おおむね30dB以上の難聴がある18歳未満の方

は、補聴器購入のための補助が受けられます。

（大阪市の場合。一部対象外があります）

補助の申請には「医師の意見書」「補聴器の見積書」等が必要です。医療機関に相談してみてください。

## 「障害者総合支援法」 対応補聴器の価格

	名称	価格
高度難聴用	耳かけ型補聴器	43,900円
重度難聴用	耳かけ型補聴器	67,300円
	耳穴型補聴器(オーダーメイド)	137,000円
	イヤモールド	9,000円

補聴器は、お子さんのきこえを補う大切な機器です。  
医療機関・療育機関と相談しながら適切に活用しましょう。

おわり